

平成25年9月1日  
今週のベストショット



青松園A 三友クラブ 対 三苦ホーネッツ戦

雨中の対戦にも関わらず3安打をマークし、好リードを見せたホーネッツ松尾捕手。

写真：新町パイレーツ 白岩将義

青松園A 投打が噛み合ったホーネッツが快勝！！

三友クラブ 00010 1 福井●、坂本一広瀬

三苦ホーネッツ3440X 11 井手○、矢野一松尾

3BH：松尾（三苦ホ） 2BH：井手（三苦ホ） 盗塁：松尾、稲葉、三浦（三苦ホ）

天候は小雨、グラウンドコンディションは最悪であったが協議の結果、試合は決行されることとなった。一回表、ホーネッツ井手投手は上々の立ち上がりで簡単に三者凡退。一回裏、三友クラブ福井投手も簡単に2アウトをとるが、三番稲葉選手がレフト前へクリーンヒット。続く四番三浦選手を打ち取ったかに見えたが、坂本二塁手がファンブルし、チャンスを広げる。ここでチャンスに強い五番松尾選手がセンター前に運び先制点を上げる。六番井手選手も右中間へ運び、2点を追加。井手選手が自らのバットで、試合の流れを掴む。二回表の三友クラブは三者凡退。その二回裏にふたたびホーネッツ打線が襲いかかる。またもや2アウトから、一番矢野選手が四球、二番山崎選手にデッドボール。この後ワイルドピッチで二三塁とし、三番稲葉選手が快速を飛ばしショートへ内野安打。この間に矢野&山崎の快速コンビが生還し2点を追加。なおもランナーを置き、四番三浦選手のサードゴロをサード竹岡選手が痛恨の悪送球。続く松尾選手は、またもライトヘタイムリー3ベース。7点目を上げる。ホーネッツは三回にもヒットと四球でランナーを溜め、4点を追加し、11点を上げほぼ試合を決めた。四回表、ホーネッツは井手投手から矢野投手へスイッチ。何とか一矢報いたい三友クラブは、雨で制球が定まらない矢野投手から2つの四球を選び、その後ワイルドピッチでバッター山本選手を迎える。すると、矢野投手のスピードボールを見事にセンターへ弾き返し、一人目のランナーが生還。二人目もホームへ突入するが、センター山崎選手からの好返球でタッチアウト。相手の戦意を喪失させるビッグプレーであった。ホーネッツは最終回も無失点

で抑え、11対1のコールドゲームとなった。この試合、雨でボールが滑りやすい中でも乱れない守備力と個々の選手の集中力、何よりも中村監督をはじめとする「少々の雨でも試合をするんだ!!」という、ホーネットスの試合にかける執念が結果にも結びついた試合であった。(写真、記事：新町パイレーツ 白岩将義)



投打で活躍したホーネットス井手投手。



雨中に力投する三友クラブ福井投手。



この日3安打のホーネットス松尾選手。



守備と快速でチームに貢献の山崎選手とホーネットスベンチ。



雨に苦しむも、力強いピッチングのホーネットス矢野投手。



矢野投手の速球に食らいつく三友クラブ坂本選手。



試合終了！雨の中両チームともお疲れさまでした。

## 第15週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第15週、9月1日は雨の影響で3試合が中止。

青松園Aの三友クラブ対三苦ホーネッツ戦は、実力差がものを言った試合展開。相手のミスに足や長打を絡めて大量11点を取ったホーネッツが11-1で勝利。三友クラブ唯一の得点は、今年の春先や夏の終わりにかけての雨の影響で試合日程に四苦八苦する山本健一事務局長によるものだった。

ここにきてまた雨の影響で試合消化がままならない場合、2年前のように12月突入ということも有り得ます。寒い中での試合は勘弁願いたいものですから、ホーネッツ中村監督のように少々の雨でもやるという強い意志は必要ですね。